

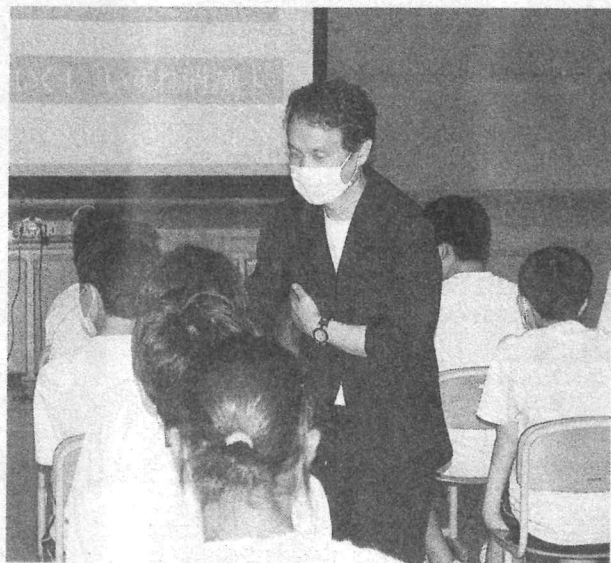
東部中生の「郷土愛」×企業の「地元愛」

「郷土愛」醸成に向けた講演会が20日、酒田市の東部中学校(赤塚校長)で開かれ、市中期観光戦略アクションプログラムに基づき今年6月に設立した「酒田DMO」の荒井朋之理事長兼事務局長が1年生75人に「これからの未来を創るのは皆さん。地域を知り、それを伝えることが大切」と呼び掛けた。生徒たちは今後、酒田DMOや市内の企業などチームを組み、「平田・松山の魅力(宝)」を探し出して国内外に広く発信する他、見つけた宝のさらなるブラッシュアップを図る実践活動に取り組む。

平田・松山の宝発信

チームで実践活動呼び掛ける

酒田DMOは、市内の観光関連団体・観光事業者と連携体制を構築し観光ニーズに対応するとともに、新たな観光誘客の推進による地域経済の循環に取り組む



東部中生徒を前に講演した酒田DMOの荒井理事長

組織。観光動向調査、観光客の特性など収集したデータに基づき観光コンテンツの構築、観光プロモーションの実施、情報発信を展開していく。

埼玉県出身の荒井理事長

は長くJTBに勤め、昨年から酒田観光戦略推進協議会に所属し、主として同校学区内にある悠々の杜一帯の活性化に着手。「ウィズコロナ」を見据え、東北公益文科大(同市)の観光ホ

ランティアサークル「酒田おもてなし隊」のメンバーと共に温泉施設の充実、市内を一望できる「みはらし台」の活用などに携わった。

その縁もあり今回、「平田・松山地区の課題解決に向けた取り組み」をテーマに同校と連携。地域の魅力を生徒たちから探し出して

もらった上で、その活用策を考察しようと、市内のブ

レステージ・インターナシ

ヨナル山形BPOパーク、

JR東日本庄内統轄センタ

ー、ANAあきんど庄内支

店、NPO法人「ひらた里

山の会」などの協力で通年

で授業を展開する。

荒井理事長はこの日、1

年生を前に「郷土愛の大切

さ」と題して講話。「住んでいる町を愛しているから、自分たちでできることはやらないと!」という気持ちで「郷土愛」。協力企業には酒田に対する「地元愛」がある。皆さんが持つ「郷土愛」と企業の「地元愛」を掛け算することこそが地域を元気づける『地方創生』の第一歩」と説明した上で、「平田・松山が元気になれば、酒田全体も元気になる」と結んだ。

実践活動として生徒たちは9月1(木)、2(金)

の両日、悠々の杜一帯で竹林整備、チップ敷設といっ

たボランティア作業を体験する予定。今後は企業と生

徒がチームをつくって地域

の宝を見つけ、その「在り

か」を伝えるための情報発

信に取り組む。